

昭和62年8月1日

高知土木技士 創刊号

(社) 高知県土木施工管理技士会 — (高知市本町4-2-15 建設会館3F TEL25-1844)

(説明)

昭和60年度建設省四国
地方建設局発注工事で、
入交建設株式会社施工、
受賞した工事完成写真。
工事名 昭和60年度
八幡改良第3工事
工事場所
南国市岡豊町八幡

会報創刊にあたって ごあいさつ

会 長 北 村 牛 基

会員の皆様、暑中お見舞申し上げます。

建設業に土木技士制度が生れて18年が経過いたしました。本県では昭和55年に技士会が誕生、59年には全国で初めて社団法人として改組されました。以来建設技術の向上と技士の社会的地位の向上を目指して斯業の発展のため影ながら努力を続けております。

ご承知のとおり建設業をとりまく環境は、この業界が受注産業である構造的な宿命のもと種々の問題が論議されておりますが昨年「21世紀をめざす活力ある建設産業」と題してビジョンが発表されました。これによりますと優良企業が成長発展して不適格業者を排除し、業界自身の自助努力によって健全な建設産業に成長するための道が示されました。

又この提言を受けた形で中建審の答申があり

「技術と経営に優れた企業」が成長していくことを基本とし、勿論このためには業界の自助努力が望まれるわけですがこれを補完する観点から条件整備のための新たな産業政策を強力に展開することを行政側求めております。

この答申により建設業法の改正が行われ去る6月公布施行されました。建設省では技術資格者のOA化や許可審査の厳正化等の事務が進められております。

これを契機に業界近代化発足の年に位置づけ、魅力ある産業として発展することを念願するものであります。

本県建設業界も旧来の陋習を破り2団体が合体の新機軸を打ち出されたことに対しては心から敬意を表する次第であります。

私は、常日頃思うわけですが、土木施

工管理技士1人1人の力は微々たるものであります。併し志を同じくする同志の結合体である技士会が力を合わせて努力すれば、業界の発展と併せて技士の社会的地位の向上が図られ若者が喜んで参入する魅力ある業界の実現が図られると思っております。そのため高知県技士会の振興と併せて1日も早く全国組織の確立にも努力をして参りたいと考えております。

技士会は勿論、本県建設業界の健全な発展のためには建設省を始め高知県、市町村等発注機関の強力なご指導を抑がなければなりません。今後ともよろしくお願い申し上げます。

土木施工の技術は、新素材の開発等、最近顕著な進展が見られると共に又コンクリート施工等についての社会的な問題点も提起され、これ等に対応する大手企業と中小企業群の技術にも格差が生ずることも懸念されます。この立場に立って技士会の果さなければならぬ技術対応など身近な問題もあります。会員の皆様方の意見を承りながら今後とも会の運営に当って参りたいと思っております。是非、この機関紙を会員と会を結ぶ絆として利用されんことを切望してごあいさついたします。

“創刊おめでとう、本県躍進のため協力をお願いします。

高知県土木部長 戸田 寿彦

社団法人高知県土木施工管理技士会報の創刊、誠におめでとうございます。

貴技士会におかれましては、創立以来今日まで1、2級土木工事技術者試験受験準備講習会、建設土木技術講習会、ポケットコンピューターの研修や技士情報等のパンフレットの配布などソフト面において、極めて多岐にわたり活発な活動を続けてこられ、本県建設関連業界の発展に多大な貢献をされましたことは、会員各位のご努力、ご苦労は大変なものであったと拝察いたしますとともに深甚の敬意を表する次第であります。

御承知のとおり、最近の建設関連業界を取りまく環境は、長期化する構造不況、円高により極めて厳しく予断を許さない状況であり私共もこの窮状を打開するため懸命の努力をしているところであります。

国におきましては、先に、国際収支の不均衡や製造業を中心とした経済不況等を踏まえ内需の積極的な拡大を図ることを基本として総額6兆円を上回る規模の緊急経済対策を行うこととしております。

本県においては、公共事業に対する依存度が高く、波及効果が極めて大きいことから、過去に例をみない大幅な前倒しを行うとともに、不況対策や下半期の事業確保、また依然として立ち遅れている社会資本の整備を加速する好機であるとの認識の下に、その積極的な導入に努めてまいりたいと考えております。

さらに、第4次全国総合開発計画の基本目標に基づき、特色ある地域づくりと本四架橋及び

高速自動車道の整備による県土の開放化に対応するため、先に漁業補償について解決をみました高知新港の建設促進をはじめ、宿毛湾港、高規格幹線道路網などの各種プロジェクトはもとより、それらを有機的に結びつける関連道路や高速道路時代に対応した大型道路標識の設置や休憩施設の整備の推進を図る所存であります。

このような時代の流れの中で、昨年十二月には「国民休暇県・高知」を宣言し、全国各地からたくさんの人びとが本県へ憩いとやすらぎを求めて訪れられ、心身をリフレッシュしていただけるような魅力に溢れた郷土づくりを目指しているところであります。その実現に向けまして、本年十月には「グリーンピア土佐横浪」が念願のオープンをするのをはじめ、春野総合運動公園、土佐西南大規模公園などにつきましても着々と整備を進めているところであり、さらには国のリゾート構想や民間活力の積極的な導入を図るため手続マリンタウンプロジェクトの推進に努め「うるおいに満ちた強靱な郷土づくり」に全力を傾注してまいりたいと存じます。

このような激動の中で土木行政の役割は今まで以上の重要な役割を担っており、近づく21世紀に向けまして県勢飛躍の鍵を握っていると申しましても過言ではないと考えております。

貴技士会におかれましても、本県の躍進のために、今後ともより一層のお力添えとご理解を賜われますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴技士会並びに会員各位の皆様のみまますのご隆盛とご健康を祈念いたしましてお祝いの詞といたします。

心の通いあう会報に

広報委員長 山本正道

昭和62年度の高知県土木施工管理技士会の定時総会も盛会裡に終了しましたことはご同慶の至りに存じます。

将来へ向い魅力ある技士会活動を行うための制度、技術、研修、広報の四委員会が編成され、不肖な私が広報委員長に選任されました。

建設産業のみならず産業界全般の技術革新が進む中で浅学、老骨の身を顧みず重責の任に就くことになりましたが、東大出の玉木通雄副委員長を始め優秀な若い委員の方々に支えられながら会員のご期待に副い得るよう頑張ってお参りたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

去る7月6日、北村会長、細木、中西、西内各副会長列席のもとに第1回広報委員会を開催、今後の広報活動の在り方などについて意見の交換を行いました。当日、北村会長の発議を受けて本技士会の機関紙を年2回(8月と1月)発行することに決定いたしました。内容については、なるべく本技士会独自のカラーを持ったユニークなものとなるように努めることで意見が一致いたしました。

因より技士会本来の使命と役割を忘れることなく、将来にわたり施工管理能力の強化と責任施工体制の確立のため優れた技術革新に取り組み、国の基幹産業として行政と一体となって建

設産業の発展につとめなければならないと思います。

その中で本紙を通じ会員相互の親睦を深めることを目的に互いの心を通わせ合う自由で親しみ易い広場として本紙を育てて行きたいものと考えます。

事務局からは、技士会の紹介、情報の交換、その他の行事や取り組んでいる一般業務についての記事を登載して参りますが会員の方々からの職場の紹介や意見等積極的な投稿を期待致しております。

例えば関係諸団体の参考となる記事の外、会員からのトピックスやエッセイ、詩、短歌、俳句、川柳、その他職場内での苦しかった思い出や楽しかった体験談など心に勇気と潤いを与えるエピソードなど幅広い範囲での投稿を寄せて頂き度いと思います。更に広報活動についての建設的なご意見やアドバイスを頂ければ幸甚に存じます。

大きく変容を見せつつある現代の社会環境の中で互いに歩んで来た建設産業の道を大切に、その担い手として時代に適応して行くための努力の中で本紙を心の憩い場として文化に親しみ楽しむのも意義あるものではないでしょうか。

会員の方々のご指導とご協力をお願い致します。してごあいさつと致します。

暑中お見舞申し上げます。 昭和62年盛夏

大旺建設株式会社

株式会社竹内建設

ミタニ建設工業株式会社

有限会社青木建設

株式会社楠瀬土建

鍋島建設株式会社

株式会社米村組

株式会社生田組

お知らせ

1. 詐欺まがい勧誘に気をつけましょう。

本年4～5月頃、文書や電話で「2級土木技士資格が4日間の研修で無試験でとれる」と宣伝して、高い受講料をとっている「中小企業福祉会」などと名乗る団体が出没しています。ご承知のとおりこの資格は、試験に合格するか、

(財)全国建設研修センターの実施する研修(修了試験あり)を受ける以外に資格をとる方法はありません。皆で気をつけて、不逞の輩の出現を防ぎましょう。

2. 高知で1級実地試験、事前講習会を行います。—9月19日の予定—

1級技士の学科試験も7月5日に終わりましたが、この合格通知は8月21日、全国建設研修センターから発送される予定です。実地試験は、10月4日、高松市で実施されます。実地試験の事前講習を高知市での希望がありましたので、本年は高知市で実施することになりました。学科合格者は、受講の申込をしてください。講習日数は、1日で終るように計画したいと思いません。

3. 一会員募集— 筑波建設省土木研究所の見学旅行

昭和54年3月、筑波研究学園都市へ移転統合された土木研究所への研修旅行を計画いたしました。研究課題も多いので四国地方建設局依頼の(1)仁淀川河口水理模型実験、(2)早明浦ダム濁水対策シミュレーション調査、(3)南大王地域地すべり調査。一般的なコンクリートの耐久性向上技術の開発などについて説明を受け、研究資料館等を見学したいと思っております。一応次の日程、経費等を考えておりますので奮って参加ください。

○日程

9月28日(休) 高知発—筑波—土浦泊

” 29日(金) 土浦発—甲府—石和温泉泊 (山梨県工事現場見学)

” 30日(土) 石和発—羽田—高知

○募集人員 最少人員 20人

○会費 9万円の予定

○募集締切 62年8月31日

4. 「生涯能力開発給付金」制度の活用を

今年は、もう遅れてしまいました。建設業協会が県と一緒に普及指導に当たっておられるようですが、私が県、労政訓練課で聞いたところによると、61年度にこの制度を活用された建設業者は2社に過ぎないようです。1、2級の技士試験、事前講習会などの受講料もこの制度を利用すると助成の対象になります。来年は奮ってこの制度を利用してもらいたいものだと思っております。因に計画書の提出期限は6月30日でした。

＝おわび＝

1. 事務局の交替の不手際からいろいろご迷惑をおかけしました。

技士情報、4月号、5月号の発送がおくれました。お詫びもすっかりおこなってしまいましたがお許しください。

2. 2級土木施工管理技士の資格取得についての詐欺まがい勧誘については、会長を始め一部の会員の方々から注意をいただきましたが、新参のうえに組織に疎い事務局のこと。とうとう7月9日の高知新聞の四面記事になってしまいました。会長にも相談して高知建通新聞にお願いをしてありましたが、この警告は7月10日号と遅れをとってしまいました。

被害者は東北地方に多かったのが不幸中の幸でした。世知辛い世の中何が出来るかわかりませんが、この件を試金石として対応していきたいと思っておりますのでよろしく願います。

暑中お見舞申し上げます。

会 長	北村牛基	制度委員会委員長	田辺正也	広報委員会委員長	山本正道
副 会 長	細木伸一	技術 “ ”	松木正隆	“ 副委員長	玉木通雄
“	中西純一	研修 “ ”	福留勢亀		
“	西内隆許				

会員の広場

談合とは？

広報副委員長 玉木 通雄

昔から、株屋、ブンヤ、土建屋が、柄の悪い商売の代表格とされているが、最近では、それぞれ、証券会社、新聞社、建設会社と、結構とりました名称をつけていただいて、少しは紳士の仲間入りをさしてもらったような気分にもなってきたと云うもの。

小生は、この三悪商売の内、株屋（元山一証券）と、土建屋（現職）を歴任して、ブンヤをやれば、三冠王と云う名誉ある経歴を備えている。数年に一度、どういう風の吹きまわしか、文章を書かされる機会があるが、生来の柄の悪さが災いしてか、筆を取るとロクな事がない。前回、高測協（高知県測量設計業協会機関紙）に、用地測量業務の随契分について、その単価の安さを批判する拙文を掲載した所、私が、実例として挙げた発注者とは、全然違う官庁から、随分とお叱りを受け、しかも複数の発注者から、故意か偶然か、ピタリと指名が来なくなったのには、全く閉口した。しかしながら、用地測量業務の単価は、その後相当に改善をしていただき、大変有難いことだと感謝している次第である。

親爺が、元高知警察署長、又、高知県警友会長をしていたからか、常に物議をかもしそうな話題をとりあげる性格には、我ながら、情けなくもあるけれども、又々、業界のタブーとされる談合問題について、取上げてみたい。

談合罪については、刑法第96条3に

「①偽計若クハ威カヲ用ヒ、公ノ競売又ハ入札ノ公正ヲ害スヘキ行為ヲ為シタル者ハ2年以下ノ懲役又ハ5千円以下ノ罰金ニ処ス。

②公正ナル価格ヲ害シ又ハ不正ノ利益ヲ得ル目的ヲ以テ談合シタル者亦同シ。」と云う条文があるが、これが建設業におけるいわゆる談合に

なじむ条文かどうか、常日頃、疑問に感じているところである。談合罪の適用条項は、当然第2項になる訳だが、「公正なる価格を害し」とあるが、公共工事の積算については、建設省主導により、厳密な資材費、労務費等の調査に基づき、正確かつ、余裕の少い予算が組まれて居り、これに基く予定価格を上回っては、落札し得ないので、不公正な価格による入札の出来るはずもない。全国の建設業の平均利益率が、3%程度である事を見ても、如何にこの予定価格が厳しいものであるか、よくわかると思う。業者が、談合により、「公正なる価格を害する」ことは、不可能と云はねばならない。続いての、「不正の利益を得る目的」についても、前記と同様の理由により、業者は、「不正の利益を得る」事は出来ない。よって、建設業者は、談合罪の適用を受けるような、談合は不可能であると云はねばならない。そもそも、予定価格の定められている入札に関し、談合罪の成立する余地はないのではなからうか？

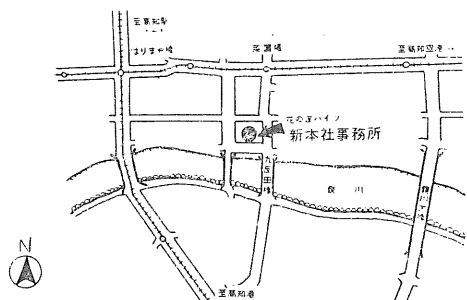
建設業全体として見れば、予定価格の5%でも切って入札すれば、当然出血受注と云う事になるので、いわゆるダンピングに該当すると考えられる。建設業就業者人口が、農業人口を上回っている現在、何かと云うと、建設業における談合問題が、話題となるのは、マスコミ（ブンヤさん）等の認識不足にも、相当な責任があるのではなからうか？

企業倒産情報でも、常にトップの座を空け渡した事のない建設業界にとって、最近のダンピングの横行は、真に困ったもので、業界の秩序ある行動と、良識と節度ある営業活動を望むと共に、業界外の人々の十分なる理解と、発注当局の再認識をお願いしたい。

創業明治39年

入交建設株式会社

1. 移転先住所 〒780 高知市九反田4番26号
1. 電話番号 (0888) 82-3888 (代表)
1. ファックス (0888) 83-7500
1. 業務開始日 昭和62年7月1日



“組面ブロック”について

島崎コンクリート(株) 山本 巖

当社では、土木用積ブロックに若干改良を加えた、“組面ブロック”を開発したので紹介させていただきます。

“形”は、従来の土木用積ブロックと同じですが、表面のみに凹凸をつけ、さらに粗い面に仕上げています。

“製造”する過程に若干の手を加えたものですが、① 面の型板に、合成樹脂と砂との混合物を貼りつけ表面が凹凸になるように工夫したものを使用します。② コンクリートを投入、脱型後に、さらに凹凸のついた表面を、スチールボールで削りとり、コンクリートの肌が露出するように加工いたします。

この“製品の特徴”ですが、ブロックの表面に粗骨材の色が出てきます。当社の使用するコンクリート骨材には、緑色岩が多く含まれているためか、稍青味がかった色合いに仕上がります。

すので、見た感じが柔かく、自然石に似た感じに出来上ります。

それで、ご使用していただく場合ですが、勿論、従来同様の箇所に同ようにご使用いただけますが、とくに、治山工事や、村道工事、或いは公園地域内での各種開発工事など自然景観を大事にしなければならない工事には最適かと存じます。

柔かい感じから、宅地に石垣に利用していただく例も多いようです。

さらに、高速自動車道では、夜間走行時のヘッドライトの光を乱反射させる目的から、多く利用されております。

なお、コンクリートを投入する前に、各種の壁材料を混入したモルタルを投入することにより、カラフルな色ブロックや、ミカゲ石の表面をしたブロックができますので、いろいろなど利用がいただけると考えております。

事務局便り

1. 昭和62年度通常総会

62年5月9日(土)午後2時から建設会館2階会議室で開催されました。

会員総数は、997名。出席者はわずかに58名。委任状470名でした。

お蔭様で61年度決算は、収入総額約650万円、62年度繰越金58万余を残す決算となり、又1、2級の受験事前講習会を実施した特別会計勘定も1級で30万円余、2級で26万円余を繰越すことができました。

62年度は、61年度事業を踏習して実施することに計画されていますが事務局としては、収入を確保して会員の皆様に少しでも奉仕する会として努力をして参りたいと思っております。

2. 62年度第2回常任理事会

62年6月11日(木)午前11時から建設会館2階会議室で開催されました。

○議案1は、常任理事会に一任されていた役員の変更で次の役員が改選されました。

職	前任者		改選者	
	氏名	所属	氏名	所属
副会長	依光隆夫	須崎工業(株)	西内隆許	大 国 会
常任理事	秋山弘安	大豊開発(株)	河野通久	(有)河野建設
	中屋健彦		北村博夫	
専任理事	島崎千年	高吾北建設業協会	織田好和	高吾北建設業協会
“	竹田 繁	中村地区 “	佐田未喜	中村地区 “
“	畦地豊実	土佐清水地区 “	細川頼行	土佐清水地区 “
“	片山 巖	高知県南国土木事務所	塚崎重知	高知県南国土木事務所

なお、依光隆夫氏は相談役として本会の運営にご協力をお願いすることになりました。

○議案2、その他の案件については次のとおりで(1)(3)(4)の項目については、「お知らせ」の欄で説明させていただきます。

- (1) 1級土木施工管理技術検定実地試験受験準備講習会の開催について。
- (2) 1、2級土木施工管理技士資格試験の高知市誘致運動の実施について。
- (3) 昭和62年度土木技術研修計画について。
- (4) その他

笹岡常任理事から、いかがわしい施工管理技士資格講習会について、技士会から関係者に警告するよう発言がありました。

山本委員長あいさつのあと、発刊計画、内容、執筆依頼と執筆料、機関紙の名称などを協議、各委員さん皆それぞれのご意見がありました。創刊号は、見てのお楽しみと云う感じで、編集は、山本委員長、玉木副委員長、北村事務局に下駄を預けられての舟出となってしまいました。

事務局としては、機関紙として全員に親しみやすいニックネームの命名を大いに期待していましたが、残念ながらこれは会員から命名をいただくことになり、創刊号は、固い名称の発刊となりました。

広報委員は、次の7名です。

- 委員長 山本 正道 (株)山正建設
- 副委員長 玉木 通雄 高陽開発(株)
- 委員 政岡 浅義 (株)八幡土木工業
- “ 萩野 昭雄 ハギノ建設(株)
- “ 山崎 伝三郎 高大建設(株)
- “ 西沢 博之 (株)西沢組
- “ 井上 博史 入交建設(株)

3. 第1回広報委員会

62年7月6日(月)午前11時から長香ビル地階会議室で開催。西沢委員は、急用出来のため退席。井上委員は代理、森光氏出席。会長、副会長は、全員出席のもとで開催されました。

お願い!!

62年度会費納入について

今年も技士会の会費をお願いする時期になりました。新米の事務局氏が1人で一生懸命頑張っています。よろしくご協力をお願い申し上げます。

技士会は、会費を集めるだけで……とお叱りの声も聞きます。お叱りの前に技士会は会員の皆様方の意見を聞きながら進みたいと思いますので、どしどし会報にも意見をお寄せください。

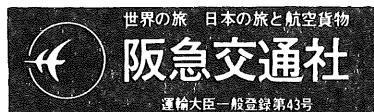
なお、会員が減少の傾向にあります。地区協会毎の加入状況は右表のとおりとなっておりますので、未加入の会員の加入について地区の会長さん、一臂の力を貸してください。

地区名	地区会員数	左の内技士会 加入会社数	以 外 の 加入会社数
室戸	58社	12社	2社
安芸	39	29	3
南国	48	13	2
嶺北	39	35	2
高知	100	32	30
大国	52	12	0
高吾北	40	13	0
高陵	77	54	3
高幡	34	2	0
中村	84	16	2
宿毛	76	41	0
清水	23	21	0

高知県土木建築業協同組合と業務提携

航空券の予約は

TEL 0888-73-1141



高知市

新阪急ホテル内

新任挨拶

副会長 西内隆許

私は、このたび、高知県土木施工管理技士会の副会長の大役を拝命致しました。もとより浅学菲才、その器ではございませんが、折角御推挙を賜りましたからには、皆様方の御期待に応えるべく、微力ではございますが、一生懸命頑張りたいと考えておりますので、今後共一層の御指導と、御支援を賜ります様お願い申し上げます。

さて、今日私達の建設業界を取り巻く環境は、貿易摩擦、円高不況等に起因する建設需要の低迷、競争の激化等、極めて深刻な状態が続いております。此の様な状況の中で、脆弱な企業を維持してゆくためには、何よりも施工技術の向上と、経営の合理化を進めることにより、収益性を高めて、経営基盤の強化を図らなければな

らないと考えます。

又近く施行されようとしております建設業法の改正に当たっても、特定建設業の新規許可を取得するためには、一級土木施工管理技士、一級建築士、及び技術士等の確保が必要とされる様で、今後本会の存在価値も次第に評価されると思われれます。此の様な時期において、お互いに益々研鑽を積み、施工技術の高度化を図り、社会資本の整備、産業基盤の確立のため大きく寄与する様会員皆様方の、更に一層の御尽力をお願い致す次第でございます。

終りに臨み、会員の皆様方の益々の御健勝と御発展をお祈り申し上げ、技士会報創刊号の紙上をお借りし御挨拶と致します。

四国4県技術検定合格者数並びに技士会加入者調べ

(昭和60年度末現在)

県名	1級	2級	計	技士会加入者
徳島	1,410名	8,785名	10,265名	2,080名
香川	1,773	6,157	7,930	1,210
愛媛	2,919	9,580	12,499	1,167
高知	1,668	6,722	8,390	993
計	7,840	31,244	39,084	5,450

編集後記

—泥舟と大船—

創刊号も、どうにか原稿が集まり、やっと舟出することができました。

広報委員さんの中には、創刊号はしよいがあとかたが難いぞとどかす方がおられます。余りカミシモ(袴)をつけない気易い会報として末永く続けてまいりたいと思いますので、会員諸氏の奮ってのご投稿をお願い申し上げます。

事務局の北村は、生来のガサツ者で、カチカチ山のお咄話ではありませんが、泥舟の親分と

異名をとり、これに乗舟すると危険千万と噂をされたこともあり、会長を始め役員の皆様方には、ご迷惑をかけることがあるかもしれません。よろしくご指導をお願いします。

それに引きかえ副委員長の玉木さんは、高知県の犯罪史をものした玉木義虎氏の御曹子であり、私としては、大船に乗った気持で頑張れます。泥舟が大船の足を引っ張らぬよう安らかな舟出を祈って終了。